

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名：グループホーム 草佳苑

作成日：平成22年 4月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	入居者の超高齢化による、身体機能の低下や、認知症の進行により介護計画の見直しが必要である。	残存能力を維持し、一人ひとりが健康で、その人らしい生活ができる支援の確立。	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者毎に再サセスメントし、その人の現在の状態を把握する。(私の姿と気持ちシートの活用) ・ケースカンファレンスにて、問題点を表面化し、改善点を検討する。 ・改善点を基に介護計画書を作成する 	
2	2	地域の方への啓発の機会が少なく、グループホームの存在があまり知られておらず、交流の機会が得られなかった。今後、地域の一員として交流できる施策を工夫する。	ホームの理念である「地域に根ざした生活」の実現に向けた取組みをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に出席された、区長さん・民生委員さんに協力頂き、婦人部・老人会の会合で紹介して頂く。(経営者・管理者が出席し説明する) ・老人会の方に話のボランティアに来て頂く様呼びかける ・区長さんから、月毎の区の行事予定表を頂き、参加を計画する 	6ヶ月
3	10	これまで意見や要望を出して頂く機会が少なかった。今後、利用者や家族の要望が反映される体制を作る必要がある。	利用者や家族が気兼ねなく、意見や要望を出せる体制をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱を設置する ・運営推進会議の参加者の増加を図る ・家族が参加できる行事を増やし、行事の前に「家族の懇談会」の時間をつくり、家族同士の話し合いの場を設ける。 ・家族の面会や、関係者の面会時は担当者がゆっくり対応し、気兼ねなく意見を言える雰囲気をつくる 	3ヶ月
4	35	災害時に起こり得るリスクや、非常時に対する職員間の意識の統一が出来ておらず、一部不安が残っている。災害対策、及び安全な避難誘導の統一が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・地震・風水害時の安全な避難誘導 ・非常時に対する備蓄の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の避難訓練のほか、本年から月1回GH独自で避難訓練を実施する。その中で、改善点を検討し、より安全な誘導方を導きだす。又、毎月の訓練を通し、入居者の安全な避難誘導を身につける。 ・地域の消防団と関わりをもつ 	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

